

# 記念館新聞

福崎町立  
柳田國男・松岡家記念館  
〒679-2204  
神崎郡福崎町西田原  
1038の12  
電話：0790-22-1000

## 伊勢大神楽



11月10日(土) 13時から

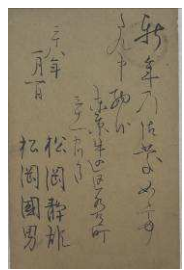
観覧料 無料  
雨天決行

今年も伊勢大神楽が、記念館前広場にやっています。伊勢大神楽は、江戸時代より続く伝統芸能です。獅子は家々での竈祓(かまどばらい)を行なう際に舞うだけでなく、村落の鎮守社境内などで「総舞」と呼ばれる芸能を披露してきました。

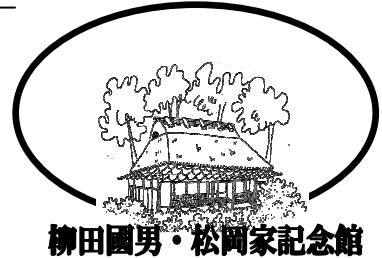
このような歴史を持ち、国指定の重要無形文化財である獅子舞が披露され、無病息災、家内安全などの願いをお祈りします。伝統芸能を間近で見ることができ、機会でもあります。ぜひ、お誘い合わせのうえ、ご観覧ください。お待ちしております。

### ★特別展開催中★

現在、記念館では特別展「播磨国風土記〜井上通泰の風土記研究〜」を開催しています。展示では、井上通泰の風土記研究とあわせ、通泰の人物像にもふれています。



右の葉書は、明治28年一月一日に國男と静雄が連名で通泰に送った年賀状です。このとき、通泰は30歳、國男は21歳、静雄は18歳でした。『記念館新聞』第48号でご紹介したように、井上家に養子に入った通泰と國男は幼い頃より交流をしていました。



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆  
☆開館時間  
9時～16時30分  
(入館は16時まで)  
☆休館日  
月曜、祝日の翌日  
12月28日～1月4日  
☆入館料  
無料

### 記念講演会

「井上通泰の業績と人となり」  
講師 井上 舞氏  
日時 11月18日(日)  
13時30分～  
場所 記念館2階  
聴講料 無料

葉書から、その交流が途切れることなく続いていることがわかります。さらに、左記のように記念講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。

### 銀の馬車道のあれやこれ

『記念館新聞』第46・47号でお伝えしましたように、銀の馬車道の整備作



業が進められています。10月6・7日に、福崎町で秋祭りが行なわれました。賑やかな太鼓の音とともに、祭り屋台が練り歩きました。右の写真は、銀の馬車道を通る祭り屋台です。そして、その右側に写るのは、改修工事中の大庄屋三木家です。三木家は、柳田國男が預けられた家です。『故郷七十年』では、三木家の蔵書を読んだことから、自らの学問の基礎を築くことになったと記されています。



福崎町では、日本民俗学会の研究奨励賞に副賞を贈ることになりました。

第32回日本民俗学会研究奨励賞の受賞者は、渡部鮎美さん(国立歴史民俗博物館 非常勤研究員)です。そして、受賞論文は「機械化稲作転換期における稲作技術の多様化とリスター秋田県大潟村を事例に」です。研究奨励賞の表彰式は、10月6日に東京大学で開催された日本民俗学会第64回年会で行われました。

この表彰式で嶋田町長が、渡部さんに副賞を贈呈し、あいさつをされました。その中で、柳田國男の『豆の葉と太陽』の「美しき村」第5章に書かれている「村は住む人のほんの僅かな気持ちから、美しくもまぶくもなるものだ」を引用し、福崎町が美しい町づくり、住みやすい町づくりを目指していることをお伝えしました。